

マグロはえなわ漁について

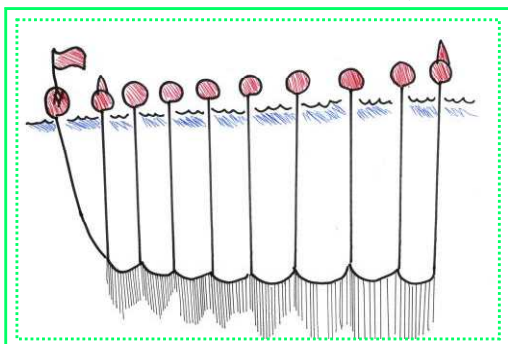
5209 A

テーマ設定の理由

山田先生のお話で、「マグロはえなわ漁という漁があるんだよ。」という言葉聞いて<マグロはえなわ漁>って何だろうと思って興味をもちました。さらに、お話を聞いていると、「一度に何びきもとれるんだよ。」って言っていたので、どういう風なとりかたでやるのか、気になって、<マグロはえなわ漁>について調べる事にしました。

研究の内容

盛漁丸で船長をしている小原さんにうかがいました。



* (1)はえなわ漁の構造は？ *

「遠洋マグロ船の<幹縄>の長さは、150キロメートルなります。」

* (2)はえなわ漁に使うえさは？ *

「はえなわ漁に使われる

主なえさは、さば・いか・さんま・いわしなどの、魚が使われます。」

* (3)はえなわ漁でとれる魚の種類は？ *

「はえなわ漁でとれる魚の種類は主に、本マグロ・目針マグロ・シロカワマグロ・メカジキ・マカジキ・キハダマグロなどです。」

* (4)はえなわ漁の船の大きさとその船に乗る人数は？ *



「この盛漁丸は、横の長さ、31メートル・幅6メートルです。そして、乗る人数は15人です。」と教えてくれました。その、船に乗る人は、半分以上は、外国人だそうです。

*** (5) はえなわ漁に使われる道具 ***

< 1 >

ラインホーラー

海から上がってきた魚を上げる機械です。

< 2 >

ブランリール針のついたなわをまく。



< 3 >

てんぐす

細いてんぐすを2本ねじって、それを6本、そうすると細いてんぐすを、全12本になる。



*** (6) はえなわ漁にかかる日にち ***

盛漁丸だと、15人で、約40日航海をします。

*** (7) はえなわ漁はいつから? ***

「私が生まれる前からあります。なので私は分かりません。でも、それくらい前からあるということです。」私は、すごいなあ～思いました。

*** (8) 魚群探知機って? ***

「はえ縄漁は、魚をとる為に、魚群探知機を使います。魚群探知機とは水温や魚の餌になるプランクトンなどの微生物を映します。その微生物が多いほど、お魚が来るとのことなのです。」私はずっと、魚群探知機は、魚を映すものだと思っていてびっくりしました。



*** (9) はえなわ漁をして困った事がありますか? ***

「はい、漁をしていると、たまに、サメも一緒に水揚げされることがあります。サメは、エサとなるマグロがはえなわにひっかかっているのを狙ってマグロに噛み付くんです。そして、一緒に水揚げされるんです。」

* (10) 船に乗っている人たちの、た・の・し・み！ *

「船に乗ってる人の楽しみは、＜おかし＞＜ DVD ＞＜ビール＞です。」といっていました。おかしは何を食べているのかと思いました。 おつまみ係かな～。

* (11) 漁獲量が減ってきている *

・ どんないり組み？

サバ・いわしの捕る量をなるべく減らしています。様々な漁の餌となるサバ・いわしは、減ってしまうと困ります。とくに、はえなわ漁では一気に魚（エサ）を使ってしまうので、なるべく多く捕りすぎないように、減らすという工夫をしています。でもそうすると、水産業の利益が減ってしまい。日本人も肉趣向になって 臼福さん（教えている様子）きているので、その取り組みとして『気仙沼の魚を学校給食に普及させる会』がメカジキコロッケを学校の給食に出す取り組みを通して「魚は美味いんだよ！」とみんなに教えて＜魚の受容＞を増やそうとしています。



まとめ

はえなわ漁とは、何本もの針の仕掛けに、えさとなる魚を付けているような機械で海へ投げ入れます。そして、何日かたったら巻き上げます。その作業だけで丸一日かかります。 漁師さんって大変なんだなあ～。

～研究のまとめ～

私は、はえなわ漁について調べて楽しかったです！今までに知らなかった事や聞き覚えのある言葉、知っていても詳しくなかったことが分かりました。見たり、聞いたり、実際に触れたりして、ゲストティーチャーや、盛漁丸の船長さんや色々な人が教えてくれました。私は、そのおかげで、＜気仙沼の海マグロはえなわ漁＞についての研究ができました。他にも色々なことが分かりました。研究テーマとはまた違うサメのことや養殖のこと、昔の気仙沼の海のことも知ることができました。

ありがとうございます!

教えてくれた小原さん



調べてる様子



ちひろ会の皆さん



渡辺さん

がんばっぺ

気仙沼!

私たちががんばります!

